

# メディア文化と ジェンダー

近年「#MeToo」や「フェミニズム」ということばをメディアやアートの世界でもよく聞くようになりました。同時に「フェミニズム嫌い」や「ミソジニー（女性嫌悪）」といった、フェミニズムを批判するような言葉も流布しています。この講義では、現代フェミニズムの見取り図を示すとともに、日本社会が未だに性差別的で多様性に満ちていないこと、そのせいで文化や表現の領域でどのような問題が生じてしまうのかといった観点から、「メディア文化研究」や「メディア・スタディーズ」について解説していきます。とりわけ広告やマス・メディア、アート、ポピュラー・カルチャーの領域における「女性表象」にはどのような課題があるのか。さらにはそのなかでも、炎上をはじめ「問題化」する事象や事例などはどのようなものなのか。具体例を織り交ぜつつ、今後「表現」にかかわる仕事をしていくみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

日時

2022年 1月 21日 金 17:40 ▶ 19:10

場所

第一教室

※コロナの感染状況によりオンライン開催になる可能性もあります。

講師

田中 東子 (たなか とうこ) 氏

講師プロフィール

大妻女子大学文学部教授および東京大学大学院情報学環客員教授。博士（政治学）。専門はメディア文化論、フェミニズム、カルチュラル・スタディーズ。著書に『メディア文化とジェンダーの政治学－第三波フェミニズムの視点から』（世界思想社、2012年）、『出来事から学ぶカルチュラル・スタディーズ』（共編著、ナカニシヤ出版、2017年）、『ガールズ・メディア・スタディーズ』（編著、北樹出版、2021年）、『足をどかしてくれませんか』（共著、亜紀書房、2019年）など。

